

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護支援論Ⅰ		NSP33_012	選択	2	3	前期
担当教員		研究室	電子メールID	オフィスアワー		
伊丹 幸子		304	s.itami	月曜日 12：10～13：00		
授業の目的・概要		公衆衛生看護の対象・目的・特徴と公衆衛生看護活動の諸理論と看護の方法である家庭訪問援助や相談的対応技術及び教育的対応技術について学ぶ。また、行政サービスとして機能する保健師の具体的な活動を理解する。社会のしくみや公的サービスの枠組みの中で展開される地域生活集団を対象とした母子、成人、高齢者など発達段階別の公衆衛生看護活動とその展開方法について学ぶ。				
授業形式・方法		☑対面授業 ☐遠隔授業（双方向型） ☐遠隔授業（自主学習） ☑講義 ☐実習 ☐実技 ☑PBL ☑グループワーク ☐その他（ ） ☐反転授業 ☑プレゼンテーション ☐実習・フィールドワーク ☑ディスカッション・ディベート ☐実習・フィールドワーク				
学習上の助言		人間の心身の発達段階、看護活動に関連する既習の関係法規等についてよく復習しておくこと。また、既習の人体構造機能学や疾病治療論の知識を整理しつつ授業に臨んでほしい。				
教科書		・最新公衆衛生看護学 第3版 2024年版 総論、各論1、2 編/宮崎美砂子ほか/日本看護協会出版 ・ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習/編：牛尾裕子、佐藤紀子、田村須賀子/クオリティケア				
参考書		・国民衛生の動向 2023／2024 日本公衆衛生協会 ・看護法令要覧/日本看護協会出版会/2017				
外部教材						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	発達段階に応じた公衆衛生看護活動の内容とその実践方法を述べられる。			NS(1)～(5)		
②	健康課題別の公衆衛生看護活動の内容とその実践方法を述べられる。			NS(1)～(5)		
③	学校保健分野の看護活動の特徴と展開方法を説明できる。			NS(1)～(5)		
④	公衆衛生看護活動を法令や制度、社会資源、各理論と関連させて説明できる。			NS(1)～(5)		
⑤	保健師活動に必要な対人援助の姿勢を学ぶ。			NS(2)～(5)		
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	公衆衛生看護の概念、定義、理論、歴史		講義・演習	公衆衛生看護の歴史について調べる。 4		
2	保健師の機能・役割		講義・演習	保健師について調べる。 4		
3	家族の定義と特性、家族を単位とした看護の必要性 家族アセスメントの理論		講義・演習	家族を対象としてアセスメントの仕方を調べる。 4		
4	家庭訪問① 家庭訪問の目的・対象・法律		講義・演習	保健師が行う家庭訪問について、事例を熟読して調べる（ワークブック）。 4		
5	家庭訪問② 家庭訪問の技術		講義・演習			
6	家庭訪問③ 家庭訪問の評価、関係機関・職種の連携、社会資源の開発		講義・演習	4		
7	健康相談① 健康相談の目的・対象・方法		講義・演習	保健師が行う健康相談について、事例を熟読して調べる（ワークブック）。 4		
8	健康相談② 健康相談のプロセス、健康相談の企画・実施・評価		講義・演習			
9	健康教育① 保健師が行う健康教育の目的・対象・技術と基礎理論		講義・演習	保健師が行う健康教育について、特徴等調べる。 4		
10	健康教育② 健康教育の方法とプロセス		講義・演習			
11	健康診査① 健康診査の目的・対象・技術		講義・演習	保健師が携わる健康診査について調べる。 4		
12	健康診査② 健康診査のプロセス、特定健康診査と特定保健指導		講義・演習			
13	地域ケア体制づくり、地域組織活動への支援 事業化・施策化		講義・演習	保健師の特徴的な活動について、調べる。 4		
14	事例を通した公衆衛生看護活動		講義・演習			
15	事例を通した公衆衛生看護活動		講義・演習	4		
試	達成度評価・評価ポイントを参照					

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	20	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	40	10	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験：筆記試験とする。また、問題は保健師国家試験出題基準を含む。			解答の解説をする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
レポート	①	✓	レポート課題に対して適切に論述することが必要である。			レポートはコメントして返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	出席日数と課題提出等総合的に評価する。出席日数と日々の受講態度、演習等を総合的に評価する。			問題が生じた場合は、個別に面接を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教 員 の 実 務 経 験		保健師として 35 年勤務し、県職保健師として県庁、保健所、児童相談所、市町村保健師業務を経験している。					
実践的授業の内容		保健所・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、公衆衛生看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。					
そ の 他		・ 毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・ 学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・ 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・ 状況により Teams を使った同双方向型授業を実施する場合は通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・ 本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。					